

# 訪問リハビリ通信

第5号

～Rehastagram～

こんにちは。栄宏会小野病院訪問リハビリテーション  
理学療法士の岩本です。

今回は「訪問リハビリ介入時の提案や疑問」について紹介します。

## 訪問リハビリテーション こんな時どうしたらいいの？



### ◎提案

病院でリハビリテーションを受けた後退院し、自宅に帰ると殆ど動かなくなり活動量が減少しADL動作が行いにくくなるが多々ある。



→入院時はほぼ毎日リハビリテーションを受けており、活動量が確保されています。しかし、自宅に帰ると、自主的にトレーニングを行っていかねばならず、継続して運動をしていくことが困難なケースが多いと思います。

⇒退院後すぐに訪問リハビリを利用し、自宅内での動作の評価、確認。自主トレーニングの習慣化を目的に数か月(3か月程度)の期間を限定し介入します。

目標が達成できたら訪問リハビリを終了し、地域活動の参加やデイサービス利用などに繋げていきます。

### ◎疑問

訪問リハビリテーション中にケアマネージャーが訪問しても大丈夫なのか？

→基本的には訪問リハビリテーションを行っている場面を見て頂き、利用者様の状態を把握していただければと考えています。ただ、利用者様の状態によってはリハビリテーション中の訪問を控えて頂きたい方もおられるので、訪問前にご相談いただければと思います。



訪問リハビリテーション介入の際には疑問点が多々あると思います。  
何かあれば遠慮なくご相談いただければと思います。